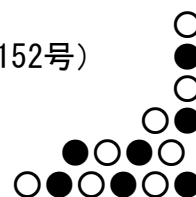


げんけん マンスリーレポート No. 2026-1 (第152号)

発信元 : 東京都市大学 原子力研究所
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>
発信日 : 2026/1/16



こんにちは。原子力研究所です。

今回は、12月15日(月)に行ったウェビナーについて紹介します。
WiN (Women in Nuclear) という原子力・放射線利用分野で働く女性の国際NGO
組織があり、そこからのお声掛けで、原子力・放射線施設を紹介する30分程度
のウェビナー (WiNEXI) を開催することになりました。

中村いずみ教授の加振台装置を用いた研究の紹介を中心に、岡田往子客員
教授、佐藤勇所長、羽倉尚人准教授も参加し、原研についての紹介を行い
ました。

ウェビナー参加者からは「大変分かりやすくInformativなプレゼンテ
ーションだった」「研究炉のNeeds、もしくはそれらが担っていた機能の代替に
ついては、これからもGlobalな課題として検討していければ」といった感想が
聞かれました。

【WiN-Global】 <https://win-global.org/>
【WiN-Japan】 <https://win-japan.org/>
【Experimental Installations (WiNEXI)】
<https://win-global.org/groups-of-expertise/winexi/>

★トピックス

- ・ 研究所報【通巻51号】を発行しました。
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/category/bulletin/>
- ・ 12/13(土)、共同原子力専攻の未来エネルギーフォーラムシンポジウムが
西早稲田にて開催されました。
<https://www.nuclear.sci.waseda.ac.jp/sympo/sympo20/>

★利用実績(12月)

- ・ 放射線業務従事等登録数 ; 業務従事者 : 60名、指定従事者 : 55名
- ・ 一時立入者数(のべ人数) : 95名

★主なスケジュール

12月(実績)

- 7日(日) 王禅寺ふれあいフェスティバル 出展
- 12日(金) 横浜女学院中学校・高等学校の生徒さん4名と引率の先生
探究活動の一環としてご見学
- 13日(土) 未来エネルギーシンポジウム@西早稲田
- 13日(土) 課題研究支援事業(日本原子力文化財団) 高校生40名来所
- 15日(月) Women in Nuclear Global ウェビナーにて施設紹介
Experimental Installations (WiNEXI)
- 17日(水) 所内・管理室会議
原子力規制庁 日常検査
- 19日(金) 電気機械・放射線実験(2b) @SC (王禅寺実習の事前説明)
- 26日(金) ~ 2026年1月6日(火) 冬期一斉休暇

1月(予定)

5日(月) ~ 7日(水) 東京都市大学原子力人材育成実習

16日(金) 電気機械・放射線実験 (2b)
21日(水) 所内・管理室会議
23日(金) 電気機械・放射線実験 (2b)
※月内に1度程度、原子力規制庁 (NRA) の日常検査 (フリーアクセス) の実施

—*—

- ◆書式類のページ
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/format/>
- ◆外部との共同研究/受託研究
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/history/external/>
- ◆原研のスタッフ紹介
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/staff/>
- ◆マンスリーレポートのバックナンバー
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/category/report/>

【王禅寺発】

12月に行われた2件の見学会について紹介します。
13日土曜日には、日本原子力文化財団が主催する第8回課題研究活動支援事業の一環として、当施設の見学会及び放射線の飛跡観察実験を行いました。全国の高等学校・高等専門学校・中等教育学校から10校が選ばれ、「30歳の私へ～日本のエネルギーをどう考えますか～ 目指すべき2040年のエネルギーの姿とは？」といったテーマで検討を重ね、12月に東大で発表会を行うというイベントです。この研修の一環として、最終発表会の前日に当施設を見学いただきました。研究用原子炉施設の概要や放射線を利用した研究を紹介するとともに、自然界の放射線についての理解を深めてもらう体験学習をしてもらいました。
12日金曜日には横浜女学院中学校・高等学校の生徒さん4名が、自らHPをみて申し込みをしていただき、見学してもらいました。こちらも探究活動の一環として原子力施設を見学したいという希望でした。
一般的に原子力施設の見学は敷居が高くなかなか見ていただくことが難しい状況にあります。そうした中において、原研は比較的に見学していただきやすい施設として有効に活用いただけていると考えています。これからもこうしたニーズに対して可能な限り対応していければと思っています。

【第8回課題研究活動支援事業】 <https://www.ene100.jp/recruitment>

- ◇問合せ先
本配信内容についてのお問合せは、以下にお願いいたします。
原子力研究所 羽倉 nhagura[a]tcu.ac.jp

～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～☆

東京都市大学 原子力研究所 <https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺971番地
TEL 044-966-6131
FAX 044-955-6071

★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆